

国際ロータリー第2580地区
東京東村山ロータリークラブ

WEEKLY NEWS

Vol.55 第2621回例会

2021.8.19

今年度会長テーマ

時を守り、場を清め、礼を正す

卓話：野崎一重プログラム委員長



— プログラム —

- ① 点鐘：野澤会長
- ② 合唱：日も風も星も
- ③ 会長挨拶・会務報告：野澤会員
- ④ 幹事報告：平野幹事
- ⑤ 出席報告：週報にて
- ⑥ 委員長報告
- ⑦ 卓話
- ⑧ 謝辞・閉会点鐘：野澤会長



- 会員数：26名
- 欠席：5名
- 免除者：1名
- 出席率：80.00%
- 出席者：20名

例会日：毎週木曜日 12:30～13:30
例会場：八坂神社 社務所
〒189-0013 東京都東村山市栄町3-25-1

週報作成：クラブ管理委員長 大仁田 隆義
事務所：〒189-0013 東京都東村山市栄町3-5-1 ハイツむさしの101
URL：https://hm-rc.org/ h.murayama@eagle.ocn.ne.jp
facebook：https://www.facebook.com/HigashimurayamaRC/
TEL 042-393-7500 FAX 042-395-1166



会長：野澤秀夫
副会長：北久保隆一
幹事：平野裕明
副幹事：大仁田隆義

③会長挨拶・会務報告 野澤会長

- ・「ロータリーの友7月号」に「ガイ・ガンディカーと日本」が掲載。1923年9月の関東大震災に際しては、RIから\$2万5000が東京クラブに送られてきたほか、世界中のロータリークラブから多額の義援金が送られてきた。これに感激した東京RCは会員を増やしていった。
- ・訃報：石山青少年奉仕委員長のお母さまがご逝去。ご冥福をお祈りします。当クラブから花輪を送らせていただきました。
- ・東京福生RCパスト会長・松本修様が今月12日に急逝。75歳でした。同期の会長でした。昨夜、ご参列された会員の皆様お疲れさまでした。
- ・緊急事態宣言延長に伴い、9月2日と9日の例会も、Zoom例会になります。

④幹事報告 平野幹事

- ・「インターアクトクラブについて」東京江北RCに卓話依頼中。

⑥委員長報告

■石山ゴルフ部部长



「多摩分区親睦ゴルフ兼、地区大会予選会」のホスト。10/15(金)飯能グリーンCC、10組40名。会場になるゴルフ場メンバーの中継会員、相羽会員は、参加願います。当クラブから8名の参加をお願いしたい。9月の理事役員会に事業計画趣意書を提出予定。

■山本IM実行委員長



IMの打ち合わせのため、9月の理事役員会に町田ガバナー補佐と赤木分区幹事に出席をお願いしたい。9/25を過ぎると、キャンセル料金発生。開催日延長などの変更については、キャンセル料金無し。

■北久保クラブ奉仕委員長



細淵一男名誉会員から大ニコダブルを、令夫人の誕生日祝いのお花のお礼に頂き、預かっている。

⑦卓話

～入会したころのロータリーについて～

■野崎プログラム委員長

東京東村山ロータリークラブの歴史については、10年、20年、30年、40年といった十年ごとに年史を作成。「50周年」の時に「ダイジェスト版50年史」を掲載。50周年記念以降に入会された会員の方は、事務局に保存されているのでご覧ください。

私は、土方義一会員と野崎征一会員に勧められ、平成元年9月に入会。当時は「埼玉銀行（現、りそな銀行東村山支店）の2階」が例会場。

当時の多摩分区には、7クラブあった。東京福生RCの故松本修様とは同期の幹事。同期幹事で残っているのは、東京東大和RCの今野眞一会員のみで寂しい。入会した年に、「地区大会」のホストをした。細淵一男会長、土方義一幹事の時。当時の第2580地区の会員数は、4000名弱。当クラブの会員も70名弱の盛況で、会場に入りきれない位でした。メーキャブでガバナーから地区に出ると広い視野でロータリーを俯瞰でき勉強になると言われた。その後、ロータリーアクトクラブに所属。当時は、小町幸生委員長。アクトの例会は、カクリボール（現、ワンズタワーの所）。東京東大和RCと東京東村山RCの共同提唱。年間10万円ずつそれぞれが拠出。アクトソングを歌い、草取りをしたり、たまにボーリングをした。入会して8年目に初めて地区に出向し、青少年交換委員会に所属。インバンド（海外から日本に）、アウトバンド（日本から海外に）の学生は、計40名。3年目には、48名。委員は、20名とローテックス（OB・OG）。タイやマレーシアから1月と8月、年2回来日していた。委員のロータリアンが、キャリアキュラムを組んでオリエンテーションを国立オリンピック記念青少年総合センターにて3拍4日で実施。携帯電話持参者も少なかった。海外からは、成田空港のみの利用だったので、地方に行く留学生を羽田まで運んだ。奥多摩の鳩ノ巣山荘では、悪い居住環境に留学生が驚いたが、多摩川での水遊びを楽しんだ。学生たちは深夜まで談笑。しかし、翌朝には、胸に手を当てて、国旗掲揚、国歌斉唱をした。同期の委員とは、その後も、毎年のように集い、交歓している。

今は、地区に出る機会も多いので、チャンスがあれば、地区へ出て、友人を作ったり、先輩から教えを受けると、一皮剥けたようになる。

⑧謝辞・閉会点鐘：野澤会長